



**上保 佳穂**  
総務部副部長・企画課長事務取扱

主な経歴

- H6.4 入館
  - H17.10 総務部企画課(主査)
  - H20.10 関西館総務課(課長補佐)
  - H23.4 総務部企画課(課長補佐)
  - H23.10 電子情報部電子情報企画課(課長補佐)
  - H25.4 総務部主任参事
  - H27.4 利用者サービス部サービス運営課長
  - H28.4 国際子ども図書館資料情報課長
  - H30.4 利用者サービス部科学技術・経済課長
  - R3.4 総務部企画課長
  - R4.4 同 副部長・企画課長事務取扱
- ※ H16.7-H17.9 ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン大学院留学

**これまでの経験を振り返って**

現在、総務部企画課長として、国立国会図書館の将来計画の策定や活動実績評価に携わっています。国立国会図書館の中期的方針を示すビジョン「国立国会図書館ビジョン2021-2025—国立国会図書館のデジタルシフト—」を館内外に周知し、サービスや業務の実績を把握・評価し、次の企画立案や活動の実施にいかすというサイクルで、目標の達成を目指しています。国立国会図書館全体の活動に目配りする必要があり、これまでの多様な業務経験が役立っています。

国立国会図書館の事業を推進し、将来の姿を描くためには、外部状況の把握や関係者との協力も重要です。ビジョンの重点事業の一つである「読書バリアフリーの推進」は、視覚障害者等の読書環境の整備を推進するもので、学術文献のテキストデータの作成・制作支援に館として力を入れています。企画課では、電子書籍のアクセシビリティの向上支援に取り組んでおり、当事者を始め関係者の意見や要望を汲み取りながら進めています。また、前職の科学技術・経済課長のときには、科学技術情報整備審議会の運営を担当していましたが、科学技術情報整備の在り方に対する有識者の広い視野や深い学識に触れ、感銘を受けました。立場や視点の異なる多くの声を聴くことの大切さを感じています。

また、国立国会図書館は日本の唯一の国立図書館として、

国内で前例のない課題にも対処しなければなりません。国際的な情報収集や意見交換のため、語学力を備えると引き出しが大きくなります。留学や海外出張を経験しましたが、海外の図書館とのつながりができ、相談しあえる関係になれたのは大きな助けになっています。

**国立国会図書館を志望する方へ**

職員には、多様な文化資源を扱う専門性と、他者の声に耳を傾け、未知の課題に開かれた心を持って挑戦する姿勢を備えてほしいと思います。「図書館は成長する有機体である」(Ranganathan)。デジタル変革がもたらす新しい時代を共に成長していきませんか。



オンライン会議に出席



**川西 晶大**  
調査及び立法考査局政治議会課長

主な経歴

- H7.4 入館
- H18.7 調査及び立法考査局外交防衛課(主査)
- H20.4 総務部企画課(課長補佐)
- H22.4 同 総務課(課長補佐)
- H26.4 収集書誌部収集・書誌調整課(課長補佐)
- H28.4 調査及び立法考査局行政法務課長
- R2.4 同 外交防衛課長
- R4.2 同 政治議会課長

※ H12.4-H14.3 文部省に出向

**私の仕事**

議会、選挙、政党等の分野の立法調査業務を担当する課の課長をしています。

立法調査業務とは、国会で議論されるような国政課題について、国会議員からの依頼を受けて回答するために、あるいは今後国会で話題となるであろうテーマについて刊行物を作成するために、資料・情報を用いて調査する仕事です。調査に当たっては、調査員が、日々蓄積する知識に基づいて情報を中立的な立場から取捨選択し、整理し、提示することが求められます。

**刊行物に掲載する論文の執筆**

調査員は、国会審議の参考に供するため、学術論文や統計データ、新聞記事、外国の法令、議会文書等の様々な資料を用いて調査を行い、「レファレンス」や「調査と情報—ISSUE BRIEF—」等の刊行物に論文を執筆します。国会では、多様な意見が交わされます。このため、執筆に当たっては、テーマをめぐる状況を全体的に把握した上で、正確な事実を踏まえ、議論のために必要な情報をできるだけ漏れなく盛り込む必要があります。

国会審議に役立つ調査ができるように、調査及び立法考査局では、研修を行っています。課内では、これまでの調査の蓄積を利用したり、先輩等に相談したりすることもできま

す。私は、課長として、計画段階から原稿の完成に至るまで、記事が適切な内容となるように、そして、その調査員が今後さらに成長できるように、指導や助言をしています。他の管理職等のチェックも経て刊行された論文が、国会審議で利用されたり専門家に引用されたりすることは、執筆した調査員はもちろん、その課長としても、うれしいことです。

**国立国会図書館を志望する方へ**

立法調査業務に限らず、およそ国立国会図書館の仕事は、国会、そして国民のための知的基盤として、様々な情報を集め、整理し、提供することです。情報の形や流れが変われば、集め方も変えなければなりません。多くの情報が簡単に手に入るようになれば、情報を見極める力がさらに必要になります。時代の変化に対応して、自らの知識や技能を高め、情報の波に取り組んでいこうと考える皆さんと一緒に働けるのを楽しみにしています。



部下と連携して依頼に対応